

事業所による自己評価結果（公表）

公表：令和元年9月1日

事業所名【 放課後等デイサービス 楽笑 ・ 児童発達支援 楽笑 】

★ 環境・体制整備について ★

① 職員の配置数は適切であり、利用定員がスペースとの関係で適切であるか？

→ 「はい」

② 設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか？ → 「どちらともいえない・いいえ」

改善内容・目標

既存施設をバリアフリー化するには部分改修をする必要があり整備

基準に従って改修することが難しい場合があるが、様々な事例を収集し利用者の利便性を

検証し、必要に応じて段階的・部分的にできるところからバリアフリー化を行うなど、

専門家よりアドバイスを受け、バリアフリー化計画を進めていきたいと思えます。

★ 業務改善 ★

① 保護者等向けアンケート調査を実施し、意向等を把握し、業務改善につなげ自己評価結果をHP等で公表しているか？ 職員の資質向上の為、研究の機会を確保しているか？

→ 「はい」

② 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか？

→ 「いいえ」

改善内容・目標

実施・開示は任意であるが、サービスの質の向上や監査の緩和につ

ながると考えられることから、今後公正・中立な外部の第三者機関より、自ら提供する各サービスについて効果的・効率的に評価支援を受けることを検討したい。

★ 適切な支援の提供 ★

- ① 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、計画が作成し、活動プログラムが固定化しないように工夫し、立案をチームで行っているか？
- ② 子どもの状況に応じて個別・集団活動を適宜組み合わせで計画し、平日・休日・長期休暇に応じて課題を細やかに設定し支援しているか？ → 「はい」
- ③ 支援開始前・終了後に職員間で打ち合わせし、支援内容や役割分担を確認し、支援後を振り返り、気付いた点等を共有しているか？ → 「はい」

★ 関係機関や保護者との連携 ★

- ① 専門機関と連携し、助言や研修を受けているか？ 学校と情報共有と相互理解に努め、連絡調整を適切におこなっているか？ → 「はい」
- ② 保護者と日頃から子どもの状況を伝え合い、状況や課題について、共通理解を持っているか？ → 「はい」

事業所の対応

保護者の方とお会いできない場合もありますので、その場合は連絡帳

にて対応し、送迎時など保護者の方と直接お会いし、お話できる場合は送迎時などを情報共有の場として、話をさせていただく時間を作ってもらっています。

★ 保護者への説明責任等 ★

- ① 運営規定・支援の内容、利用者負担等について丁寧に説明し、子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援が行われているか？ 苦情について、対応の体制を整備するとともに、周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか？

→ 「はい」

- ③ 保護者会等の開催や保護者同士の連携について支援されているか？

→ 「どちらともいえない・いいえ」

改善内容・目標

通所されている子どもたちの年齢幅があり、就労など家庭の状況も異なる為、保護者同士の連携が難しい場合もありますが、子育てについての不安や疑問を共有できる場として保護者同士のつながりを築くことをサポートしていけたらと考えています。施設職員は学校行事などに積極的に参加し、保護者の方々との関わりを増やしたいと思います。

★ 非常時等の対応 ★

- ① 緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル・感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか？ 非常時災害に備え、定期的に避難訓練等が行われているか？

→ 「はい」

事業所の対応

各マニュアルを整備しています。周知・説明を徹底し、必要に応じて配布し、内容について確認していただけたらと思います。

- ② 虐待防止の為、職員の研修機会を確保し、適切な対応をしているか？ ヒヤリハット事例について事業所内で共有しているか？ → 「はい」